

せんだい 若手勉強会通信



国土交通省

Vol.2

新体験型施設で河川堤防について学びました！

担当
鈴木（2年目）

◆ 新体験型河川堤防施設による点検技術講習会を実施！ (R3.6.22実施)

▷ 施設紹介

堤防の変状を体験できる実物大の「**体験型河川堤防施設**」です。

護岸の破損や門柱の傾斜など29種類にも及ぶ**堤防の変状**を実地で確認しながら点検方法を学ぶことができます。

この施設は、東北地方整備局の東北技術事務所（多賀城市）に今年度新設されました。

川がないところに堤防！？



◆ 体験した若手の声

点検の実施時期や目視点検方法、また点検後の評価に至るまで一連の点検の流れを学ぶことができました。



座学の様子

抜け上がり高の測定を体験した。必要な測定機器を用いた正しい測定方法を学ぶことができました。



堤防の抜け上がり

抜け上がりにより生じた堤防天端の段差を測定しています。
抜け上がりは、破損にもつながる危険な変状です。

門柱自体が曲がっていたのにも関わらず、コンクリートの腐食しか気づくことができませんでした。



門柱の傾斜

門柱の傾斜は**勾配計**を用いて傾きを確認します。門柱部の傾斜によりゲートの**開閉不全を招く**危険性があります。

ハンマーで叩いてみて、堤防の下が空洞になっていると音が全然違うことを実際に聞いて確かめる事ができました。



法枠護岸の破損（空洞）

目視では確認できないため、**ハンマー等を用いて打音調査**を行います。写真は、実際に打音調査を体験している様子です。

河川管理施設の点検は、それぞれの施設の点検・評価要領のもと点検が行われています。下記リンクから国土交通省HPより公表されている点検・評価要領を観ることができます。

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kasen/tenkenhyouka/index.html